

横見ゼミナール

～観光を通じた地域活性化～

ゼミナールの目的

横見ゼミナールは、大阪府四條畷市、近鉄布施駅、亀山サンシャインパークと連携して、観光を通じた地域活性化を行っている。その目的は、「着地型観光」を通じた地域づくりの手法と意義を習得することであり、フィールドにおける課題の発見→課題の解決方法の検討→解決方法の実施→評価・改善、といったサイクルで学習を進めている。

四條畷ユニット（全学年の取り組み）

大阪府四條畷市と連携協定を締結して、市役所の全面協力のもとで活動している。今年度は、はじめに四條畷市の観光における課題を発見するため、平成 28 年 6 月 30 日～7 月 3 日の 4 日間にわたり、JR 四條畷駅、JR 忍ヶ丘駅、JR 奈良駅、四條畷商店街でアンケート調査を実施して、813 枚を回収することができた。アンケート調査の結果を分析したところ、「自然を活かした観光客の誘致が必要」、「四條畷市に特有なものがあるのに知られていない」という 2 つの課題が浮かび上がった。

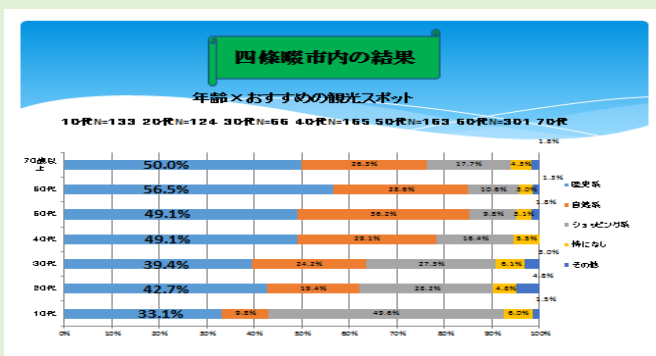


図1 年齢別おすすめの観光スポット（市内）



図2 好きな旅行・観光のタイプ（市外）

図1は、四條畷市内で取ったアンケートで四條畷市のおすすめの観光スポットを尋ねたグラフである。グラフから、どの年齢層においても歴史系スポットをおすすめしていることがわかる。しかし、図2のとおり四條畷市外で好きな旅行・観光タイプを尋ねたところ、自然系の旅行を好んでいる人が多い。これらのことから、四條畷市は「自然を活かした観光客の誘致が必要」だとわかる。

こうした課題を解決するため、平成 29 年 1 月 21 日（土）に四條畷市立野外活動センターで「なわてフェス～ご当地キャラクター参戦」を開催した。このイベントでは、「交流コーナー」、「体験コーナー」、「休憩コーナー」を設けた。交流コーナーでは、四條畷市のご当地キャラクターである、「くっすん」や「なわてレンジャー」と一緒に、四條畷市に関する「〇×クイズ」やトークショーをして、四條畷市の特有のモノを参加者に知ってもらえるように企画した。体験コーナーでは、自然を活かして、落ち葉プール、おひな様作りなどの工作体験を実施した。休憩コーナーでは、商店街の商品を販売することで、四條畷市の特有なものを知ってもらえる機会とした。今後は、参加された方から回収したアンケート調査の結果をもとに、取り組みの評価・改善を実施していきたい。

近鉄ユニット（2年生の取り組み）

平成28年10月13日（木）に近鉄布施駅主催の、駅長お薦めフリーハイキング「大学生とのコラボハイキング 東大阪地蔵ウォーク」を開催した。これは、近鉄布施駅との連携による学生自身の企画をベースとした取り組みである。この目的は、東大阪市の活性化、東大阪市の歴史を知ってもらうこと、参加者の運賃収入を通じた鉄道会社に対する貢献である。私たちは、多くの参加者に東大阪市について知ってもらうため、ハイキングコースマップ、地蔵スタンプラリー、東大阪市のおすすめのグルメの紹介を記載した学生マップを作成した。ハイキングイベントには、平日にも関わらず、603名が参加していただいた。

参加者を対象にアンケート調査を実施し、回収枚数288枚を集計した結果、図3「参加者の都道府県別の割合」より、大阪府在住の参加者が半数を占めていることが明らかとなった。地域の魅力を広く知ってもらうためには、大阪府だけでなく他府県からもバランスよく参加者を集めることが必要であることが、課題として挙げられる。

また、鉄道会社の運賃収入に関しては、図4「近鉄駅長お薦めフリーハイキング運賃の比較」より、参加者1人当たりの運賃収入が近鉄線で約459円、他社線で約115円と算出される。これに基づき、参加者全体（603名）の運賃収入を推計すると、近鉄線が約276,563円、他社線が約69,387円となる。

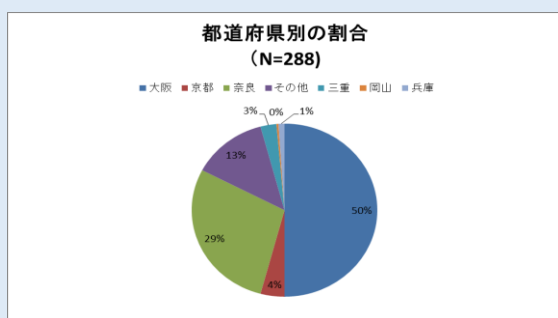


図3 参加者の都道府県別の割合

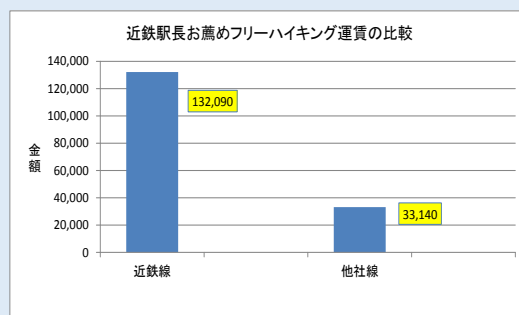


図4 近鉄駅長お薦めフリーハイキング運賃の比較

亀山ユニット（3年生の取り組み）

三重県にある亀山サンシャインパークは、東名阪自動車道の亀山パーキングエリア（PA）に隣接した県営都市公園である。平成27年11月に亀山PAの利用者を対象に4日間にわたりアンケート調査を行った。調査の結果から、亀山サンシャインパークは、亀山PAに隣接しているにも関わらず、認知度が低いことがわかった。そこで、パークの認知度を高める方法を考えるため、企画コンペを実施した。コンペの採択案として、亀山PAの利用者の多くが立ち寄りと考えられる「トイレ」に着目し、パークの施設やイベントに関する宣伝や告知のポスターを貼ることに決定した。ポスターは、来訪者の目につきやすく興味・関心を持って最後まで読んでもらえるよう、マンガ形式で作成することとした。さらには、ポスターを見た人に実際に亀山サンシャインパークに足を運んでもらうことを促すため、パークに来場した際に「ポスターを見た」と言うことで景品が貰えるようにするなどのシカケを盛り込むことを検討している。ポスターの掲示は、平成29年2月を予定している。

